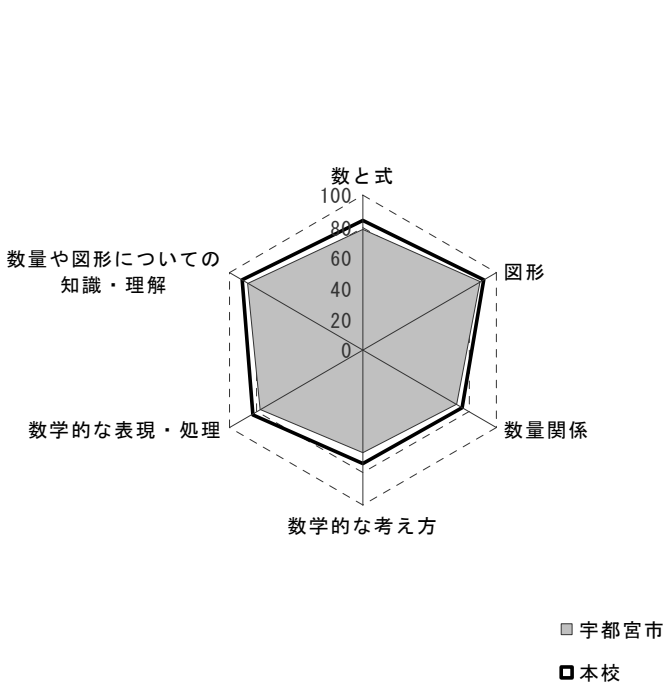


2 学年数学

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）

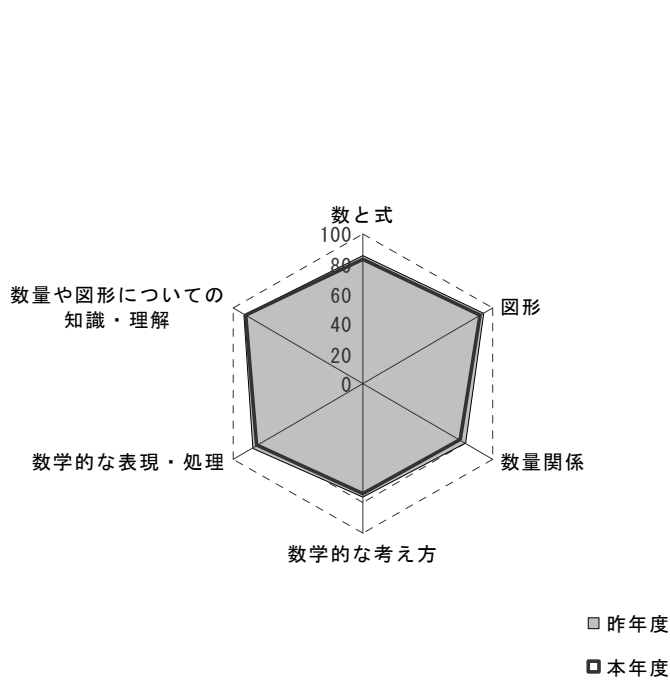


■平均正答率

| | | 宇都宮市 | 本校 |
|-----|-----------------|------|------|
| 領域別 | 数と式 | 77.9 | 83.6 |
| | 図形 | 87.0 | 90.0 |
| | 数量関係 | 69.3 | 75.0 |
| 観点別 | 数学的な考え方 | 66.5 | 73.0 |
| | 数学的な表現・処理 | 77.3 | 82.3 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 86.0 | 90.1 |
| | | | |

| 受検人数 | 宇都宮市 | 本校 |
|------|--------|-------|
| | 3621 人 | 190 人 |

(2) 領域別・観点別平均正答率（平成18年度と平成17年度の状況）



■平均正答率

| | | 本年度 | 昨年度 |
|-----|-----------------|------|------|
| 領域別 | 数と式 | 83.6 | 85.3 |
| | 図形 | 90.0 | 92.3 |
| | 数量関係 | 75.0 | 79.1 |
| 観点別 | 数学的な考え方 | 73.0 | 75.8 |
| | 数学的な表現・処理 | 82.3 | 85.1 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 90.1 | 92.0 |
| | | | |

| 受検人数 | 本年度 | 昨年度 |
|------|-------|-------|
| | 190 人 | 207 人 |

※平均正答率の状況から、今後指導の重点を置くべき領域や観点を明らかにし、指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善

| 領域 | 昨年度の状況と本年度の傾向 | 今後の指導の重点 |
|-----------------|--|--|
| 数と式 (83.6%) | <ul style="list-style-type: none"> ・「数と式」については正答率が高く、理解できている生徒が多いようである。 ・昨年度を多少下回るものの、満足する結果といえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算問題については丁寧に、繰り返し取り組むことで、今まで以上に基礎・基本の定着を図り、個に応じた指導をしっかりと行いたい。 |
| 図形 (90.0%) | <ul style="list-style-type: none"> ・「図形」に関しては正答率が9割を超えており、かなり高いレベルで理解できている生徒が多いようである。 | <ul style="list-style-type: none"> ・角度については視覚的にとらえて考えることができるので、興味・関心を喚起し、意欲的に取り組めるよう工夫していきたい。 ・証明問題に関する基礎・基本は定着しつつあるので、証明の意義や必要性についても理解できるようにしていきたい。 |
| 数量関係 (75.0%) | <ul style="list-style-type: none"> ・「数量関係」については他領域に比べポイントが低く、目標の80%を下回ってしまったが、市の平均を上回っており、習熟度別学習の成果が現れているようである。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1時間数については、表・式・グラフを関連付けながら指導していきたい。 ・1次方程式のグラフや連立方程式の解とグラフの交点の関係についても丁寧に指導していきたい。 |